



問題11

血液検査 □□□

解法の要点

解説



④巻 p.324

疾患とその診断に用いられる検査項目の組み合わせの中で正しいものはどれか。

1. じん肺————リウマトイド因子
2. 白内障————CRP
3. 前立腺癌————PSA
4. 心筋梗塞————CEA

Ⅲ-11Cc

抗原・抗体や腫瘍マーカーなどの検査項目について、なにを調べている項目なのか、どのような疾患で見られるのかをしっかりと覚えておこう。

- ×1 **リウマトイド因子**は自己抗体の一種で、関節リウマチの患者で見られる。
- ×2 **CRP**は、炎症が生じる疾患で上昇する検査項目である。白内障は老化による水晶体の混濁であり、炎症疾患ではないため、CRPは上昇しない。
- 3 **PSA**は腫瘍マーカーの一種であり、前立腺特異抗原である。前立腺癌で高値となる。
- ×4 **CEA**も腫瘍マーカーの一種である。大腸癌や膵癌、胆道癌、肺癌などで反応し高値となる。心筋梗塞などの急性冠症候群では、トロポニンやCK-MBなどの心筋マーカーが上昇する。

正解 3